＜様式1＞　管理運営状況評価書　　：選択　　：自動計算のため入力不要

【対象年度：令和7年度】　　（　② 福祉施設　）

Ⅰ　施設概要・利用情報　　（単位：人、%、円、日）

施　設　名		掛川市大須賀老人福祉センター		担当課名	長寿推進課	担当係	高齢者政策係
区　分		内　容　・説　明					
1 施設及び指定管理者の状況	(1) 設置条例名	掛川市老人福祉センター条例					
	(2) 施設設置目的	老人福祉法により高齢者は、生きがいを持てる健全で安らかな生活を保障されており、心身の健康の保持及び社会活動への参加のため当該施設を整備し、もって老人の福祉を					
	(3) 施設が有する設備・機能の概要	大集会室、研修室、談話室、休養室、娯楽室、面接室、健康相談室、機能回復訓練室					
	(4) 施設建設年度	昭和53年度					
	(5) 耐震性能	あり	（耐震性能）	Ⅰａ			
	(6) 将来予想される改修経費（想定年度と費用の見込）						
	(7) 指定管理者名	中部ビル保善株式会社					
	(8) 指定期間	令和3年	4月1日から	令和8年	3月31日まで		
	(9) 債務負担行為設定の有無	☑ 設定あり	☐ 設定なし	※　設定ありの場合：期間	令和2年度	～	令和7年度　限度額：　100,765千円
	(10)施設の管理運営形態	① 指定管理料のみで運営					
	(11)自主事業の有無	☑ 実施あり	☐ 実施なし	※　実施ありの場合は、収支状況をⅢ－(3)欄に記入のこと。			
	(12)その他事業の有無	☑ 実施あり	☐ 実施なし	※　実施ありの場合は、収支状況をⅢ－(3)欄に記入のこと。			
	(13)事業報告書提出の有無	☑ 提出あり	☐ 提出なし	※　地方自治法第244条の2第7項による提出義務			
	(14)利用者満足度調査等の実施の有無	☑ 実施あり	☐ 実施なし	※　「実施あり」の場合、直近の実施年度：　令和7年度			

区　分				R05実績	R06実績	R07実績	R08当初	備　考
2 利用状況	(1) 施設利用者数	（目標値）		16,800	16,800	16,800	16,800	※　協定書に記載した要求水準値を記入してください。
		（実績値）		11,548	11,225	12,146		
	内訳（施設・設備ごと）			11,548	11,225	12,146		
	(2) 施設稼働率（利用率）			R05実績	R06実績	R07実績		↓備考欄に算定式を記入してください↓
	（施設・整備ごと）	大広間	A	平日昼間	99.6%	100.0%	100.0%		
			B	平日夜間					平日昼間：使用日数÷平日開館日数
			C	土日祝昼間	100.0%	97.9%	98.0%		土日祝昼間：使用日数÷土曜日開館日数
			D	土日祝夜間					
		教養娯楽室	A	平日昼間	38.2%	44.4%	38.0%		
			B	平日夜間					平日昼間：使用日数÷平日開館日数
			C	土日祝昼間	57.1%	74.5%	63.3%		土日祝昼間：使用日数÷土曜日開館日数
			D	土日祝夜間					
		健康・生活相談室	A	平日昼間	56.4%	72.8%	74.8%		
			B	平日夜間					平日昼間：使用日数÷平日開館日数
			C	土日祝昼間	4.1%	2.1%	2.0%		土日祝昼間：使用日数÷土曜日開館日数
			D	土日祝夜間					

区　分			R05実績	R06実績	R07実績	R08当初	備　考
3 管理運営状況	(1) 指定管理者名						※ 1-(7)　現在の指定管理者と異なる年度のみ記入
	(2) 利用者1人当たりの運営経費		891	674	628		
	(3) 運営日数		291	291	291	291	
	(4) 運営人員	① 正規職員	0.0	0.0	0.0	0.0	※ 指定管理者の組織構成員全体の人数ではなく、当該指定管理施設で働いている実人数を記入してください。
		② 臨時職員	3.0	3.0	3.0	3.0	

Ⅱ　施設管理に係るコスト情報

（単位：円、％）

区　分		R05実績	R06実績	R07実績	R08当初	備　考
(1) 運営コスト（A）	① 人件費	7,979,316	5,668,827	5,934,496	7,463,500	
	② 印刷費					
	③ 通信費	114,073	60,009	67,031	110,000	
	④ 事務用品・旅費・図書費等	167,758	195,044	253,687	228,800	
	⑤ 借上料	985,484	529,744	225,264	440,000	
	⑥ 保険料・消費税(租税公課)等	843,765	874,893	923,515	143,000	
	⑦ その他(支払手数料・広告宣伝費・一般管理費・雑費)	201,150	240,454	228,715	240,900	
	小　計	10,291,546	7,568,971	7,632,708	8,626,200	
	対前年度増減率		−26.5%	0.8%	13.0%	
区　分		R05実績	R06実績	R07実績	R08当初	備　考
(2) 施設コスト（B）	① 管理委託費（外注費）	511,994	661,373	600,254	660,000	
		511,994	661,373	600,254	660,000	
	② 修繕費	563,649	622,930	612,900	440,000	
	③ 光熱水費	841,527	986,845	954,797	1,320,000	
	④ 燃料費	95,317	106,562	99,186	110,000	
	⑤ 清掃費					
	⑥ 保守点検費					
	⑦ その他（施設消耗品等）	553,613	551,432	477,722	495,000	
	小　計	2,566,100	2,929,142	2,744,859	3,025,000	
	対前年度増減率		14.1%	−6.3%	10.2%	
(3) トータルコスト（施設管理費の計）（A）＋（B）		12,857,646	10,498,113	10,377,567	11,651,200	
(4) トータルコストのうち、運営コストの割合		80.0%	72.1%	73.6%	74.0%	
(5) 施設の収入　※次頁に入力する		716,071	0	0		
(6) 運営コストのうち、利用料収入の割合		7.0%	0.0%	0.0%		

Ⅲ　収支差額の状況

(1) 指定管理料のみで運営している施設　　注：【指定管理料施設は(1)欄に、利用料金制度又は両制度併用施設は(2)欄に記入。また、自主事業を実施している施設は(3)欄に記入】

区　分	R05決算額	R06決算額	R07決算額	備　考
(a) 施設使用料収入	716,071	0	0	※ 施設利用料金は、掛川市に収入される
(b) 指定管理料	10,131,000	10,131,000	10,131,000	
収支差額　(a)－(b)	▲ 9,414,929	▲ 10,131,000	▲ 10,131,000	

(2) 利用料金制度施設又は指定管理料・利用料金併用制度施設　　（単位：円）

区　分	R05決算額	R06決算額	R07決算額	備　考
(a) 施設使用料収入				※ 施設利用料金は、指定管理者へ収入される
(b) 収支差額 【(a)－トータルコスト】				
(c) (b)に対する市の支出額（＝指定管理料）				

(3) 自主事業及びその他事業の状況

区　分	R05決算額	R06決算額	R07決算額	備　考
(a) 自主事業の収入	69,500	226,490	255,110	スマホ教室、飲料販売、ヘルストロン使用料
(b) 自主事業の支出	51,191	12,552	330,080	飲料仕入れ、ヘルストロン
収支差額　(a)－(b)	18,309	213,938	−74,970	
(c) その他事業の収入	31,000	11,797	60,195	光熱費高騰対策支援金（R5、7）、コピー代、受取利息
(d) その他事業の支出				
収支差額　(c)－(d)	31,000	11,797	60,195	

【単年度収支】

	R05決算額	R06決算額	R07決算額	備　考
単年度収支	−2,677,337	−141,378	−261,342	（利用料金＋指定管理料＋自主事業収支＋その他事業収支）－ トータルコスト
対前年度増減率		−94.7%	84.9%	

Ⅳ　担当課による評価

(1) 施設設置目的の達成度

点数	評価基準	評価	改善を要する点（何を、いつまでに、どのように）
3	設置目的を達成できている	3	
2	設置目的をほぼ達成できている		
1	設置目的を一部達成できていない		
0	設置目的を達成できていない		

(2) 協定書に記載した業務要求水準の達成度　＜達成：3点　8割達成：2点　6割達成：1点　6割以下の達成度：0点＞

評価項目	要求水準	実績	評価	改善を要する点（何を、いつまでに、どのように）
A　施設全体の満足度	90%以上	99.0%	3	
B　サービス内容の満足度	90%以上	98.5%	3	
C　従業員応対の満足度	90%以上	99.0%	3	
D　施設安全対策の満足度	90%以上	97.5%	3	
E　美感・清潔感の満足度	90%以上	100.0%	3	
F　施設の利用者数	16,800人	12,146人	1	老人福祉センターの利用者数は昨年度より増加したが、要求水準には達していない。今後も広報等による周知を強化し、利用促進を図っていく。

(3) 収支の改善状況　※収支差額が赤字は0点、収支差額が黒字は1点から3点とする。

点数	評価基準	評価	改善を要する点（何を、いつまでに、どのように）
3	前年度より収支状況が向上している	3	
2	前年度と同等の収支状況となっている		
1	前年度より収支状況が縮小している		
0	収支差額が赤字になっている		

(4) 安全対策・危機管理体制など

点数	評価基準	評価	改善を要する点（何を、いつまでに、どのように）
3	利用者の安全対策や危機管理体制は万全である。	3	
2	万全とは言えないが、事故等が発生する確率は低い。		
1	安全対策・危機管理体制は整っているが、昨年度事故等が発生している。		
0	利用者の安全対策や危機管理体制に不備があり、改善が必要である。		

(5) 本施設（事業）の継続性と行政の関与について

点数	評価基準	評価	改善を要する点（何を、いつまでに、どのように）
3	民間が実施できる事業であり、行政が実施しなくてよい。 （施設の貸付、売却、譲渡、独立採算制などを検討）	2	高齢者等に広く利用してもらうことが施設の目的であるため、収支改善を目的とした料金改定は適当ではない。老朽化に伴う修繕は民間でも対応可能だが、市民の安全確保のため、行政が関与して迅速に対応する必要がある。
2	民間が実施できるが、行政の関与が必要である。 （直営化、一定額指定管理料制度など）		
1	現在の指定管理で良いが、大幅な経営改善が必要である。 （独立採算制、一定額指定管理料制度への移行など）		
0	民間では実施できない、担い手がいないため、行政がやるべきである。 （直営化など）		

(6) 総合評価

点数	評価基準	評価	改善を要する点（何を、いつまでに、どのように）
3	本施設の指定管理者として、特に優れている。最適である。	2	高齢者等にとって、より利用しやすく親しみのある老人福祉センターとなるよう、施設の維持管理や事業運営に努めるとともに、利用者数の増加に向けた適切な施設管理が期待される。
2	本施設の指定管理者として、問題はなく適当である。		
1	本施設の指定管理者として、やや劣っている。改善を要する。		
0	本施設の指定管理者として、著しく劣る。適当でない。		

29 ／ 33

Ⅴ その他自由意見